
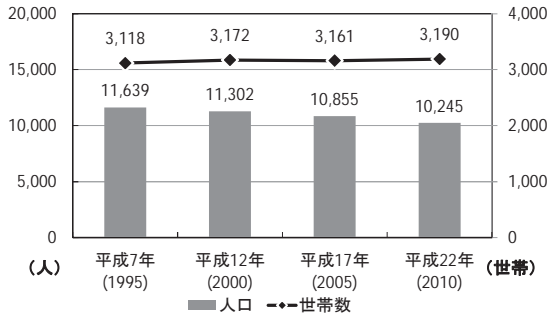


## 2. 西部地域

### （1）地域の概要

<p>位置・地勢</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>西部地域は、市の西部に位置する秦，神在，久代，山田，新本地区の区域で，高梁川の西側にあって倉敷市，矢掛町に接しています。</li> <li>地域中央を東西に流れる新本川は，地域東部において南北に流れる高梁川に合流しています。</li> <li>新本川流域には平野が広がり，地域の北部と南部には丘陵地が広がっています。</li> </ul> <div style="text-align: right;"> <p>西部地域 位置</p>  </div>															
<p>人口・世帯</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>西部地域の人口は 10,000 人超となりますが，近年減少傾向にあります。</li> <li>世帯数は約 3,100 世帯とほぼ横ばいで推移しています。</li> <li>高齢化率<sup>*</sup>は 29.4%と，市平均（26.4%）を若干上回っています。</li> <li>年少率<sup>*</sup>は 11.2%と，市平均（14.5%）を若干下回っています。</li> </ul> <div style="text-align: right;"> <p>西部地域 人口及び世帯数の推移</p>  <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th>年</th> <th>人口 (人)</th> <th>世帯数 (世帯)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>平成7年 (1995)</td> <td>11,639</td> <td>3,118</td> </tr> <tr> <td>平成12年 (2000)</td> <td>11,302</td> <td>3,172</td> </tr> <tr> <td>平成17年 (2005)</td> <td>10,855</td> <td>3,161</td> </tr> <tr> <td>平成22年 (2010)</td> <td>10,245</td> <td>3,190</td> </tr> </tbody> </table> <p>※平成 27 (2015) 年 1 月時点 <span style="float: right;">出典：総社市統計書</span></p> </div>	年	人口 (人)	世帯数 (世帯)	平成7年 (1995)	11,639	3,118	平成12年 (2000)	11,302	3,172	平成17年 (2005)	10,855	3,161	平成22年 (2010)	10,245	3,190
年	人口 (人)	世帯数 (世帯)														
平成7年 (1995)	11,639	3,118														
平成12年 (2000)	11,302	3,172														
平成17年 (2005)	10,855	3,161														
平成22年 (2010)	10,245	3,190														
<p>土地利用</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>全域が都市計画区域で，地域南部の久代地区の工業団地（ウイングバレイ西工業団地）は市街化区域（工業専用地域），その他の区域は市街化調整区域に指定されています。</li> <li>新本川周辺には農地が広がり，その多くは農用地区域に指定されています。</li> <li>久代地区の工業団地には，輸送用機械器具製造業を中心とする大規模な工業・流通施設が立地しているほか，神在地区（富原及び下原）にも工業施設が立地しています。</li> <li>久代地区には住宅団地（あおいハイツ）が配置され，良好な住環境が形成されています。</li> </ul>															
<p>交通・都市施設</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>東西方向に主要地方道上高末総社線，南北方向に主要地方道倉敷美袋線，一般県道宍粟真備線等の主要な幹線道路が通っています。</li> <li>地域の公共交通機関として，路線バス総社－新本線が運行されるほか，デマンド型の新生活交通（雪舟くん）が運行されています。</li> </ul>															
<p>環境・景観</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>正木山をはじめ，地域の北部及び南部に丘陵地が広がり，新本川流域の背景となる自然豊かな里山の景観が形成されています。</li> <li>一丁ぐる古墳群等，地域の貴重な歴史的文化的遺産が残されています。</li> <li>地域東部を流れる高梁川沿川には，そうじゃ水辺の楽校が整備され，自然とふれあう環境が整えられています。</li> </ul>															

## （２）地域の課題と方向性

- ・新本川流域においては、一定のまとまりを持つ良好な農地が広く形成されていますが、これら農地の維持に向けては、農業基盤の整備とともに、担い手となる地域住民の居住環境の向上を図る必要があります。
- ・既存の工業地を活かした工業の振興と雇用の創出による地域活性化が期待できる一方で、良好な田園環境の保全と居住環境の確保に向けて、農業と工業、住宅が共存する地域づくりを進めていく必要があります。
- ・高梁川及びその周辺に広がる丘陵地等の豊かな自然や、歴史的文化的遺産等の地域の特徴を活かし、魅力的な地域づくりが求められます。
- ・地域北部の丘陵地等では、集落の周辺において集中豪雨等による土砂災害の危険性が高い場所が多いことから、安全な生活ができるよう、減災に向けた取り組みが求められます。
- ・市民アンケート調査結果からは、定住の促進に向けて、防犯・防災の安心度の充実を望む意見が多くあげられました。このため、安全に暮らしやすい地域づくりが求められます。



田園景観（久代地区）



工業団地（久代地区）



新総社大橋



西公民館久代分館

（3）地域づくりの目標

地域づくりのテーマ

緑の田園に広がる農業とものづくりに  
支えられた定住のまち

～豊かな田園環境を基盤に農業と工業地、住宅地が  
連携、調和しながら定住を実現する地域～

地域づくりの目標

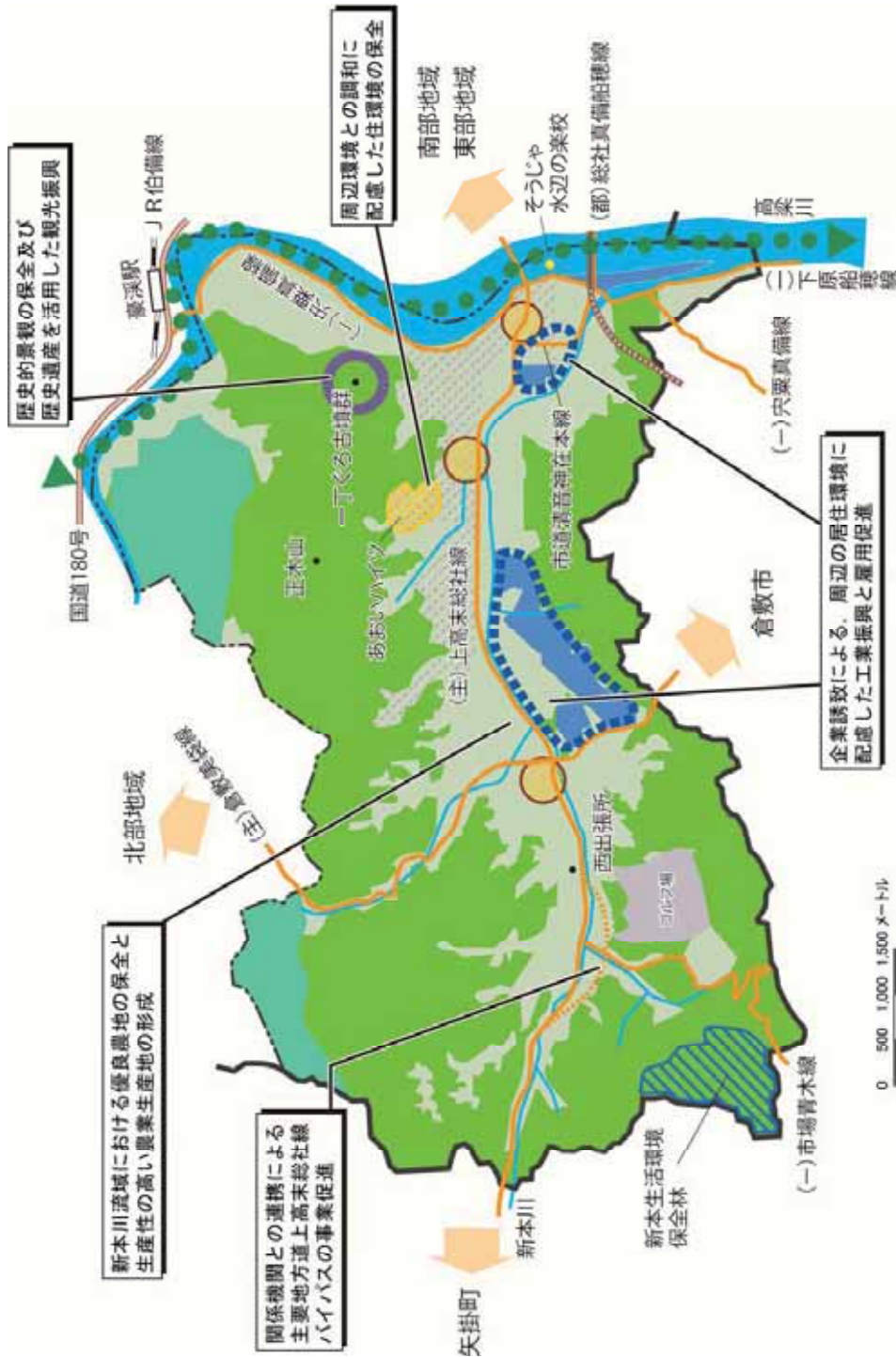
- 丘陵部の緑や高梁川、新本川等の自然資源と農地の広がる田園景観を守り育て、環境と共生した魅力ある地域づくりを目指します。
- 新総社大橋の整備に伴い、地域内外の連携強化のもと、地域の雇用・交流の推進を通じ、農業と工業地、住宅地が連携、調和する定住性の高い地域づくりを目指します。

（4）地域づくりの方針

方針・項目		主な取り組み
地域の特性を活かした土地利用	工業・流通地、工業・流通ゾーン	<ul style="list-style-type: none"> <li>・久代地区及び神在地区（富原）の既存の工業地並びにその周辺を工業・流通ゾーンと位置づけ、地元企業をはじめとする企業の誘致を進め、周辺集落地の居住環境に配慮しつつ、工業の振興と雇用の創出を図ります。また、神在地区（富原）において、地区計画に基づき、工業機能の強化を通じた良好な産業空間の形成を進めていきます。</li> <li>・神在地区（下原）の既存の工業地は、良好な工業地として維持・増進を図ります。</li> </ul>
	農地・集落地	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新本川流域等に広がるまとまりのある優良農地については、長期的に保全を図る一方で、農業基盤整備を進め、生産性の高い農業生産地の形成を図ります。</li> <li>・既存の集落地においては、商店、診療所等の日常生活に必要な機能が徒歩圏内に集積し、各集落を公共交通サービス等でつなぐ、「集落地生活拠点」の形成等のコミュニティの維持に努め、生活道路の整備や状況に応じた下水道事業等を総合的に推進して、田園環境と共生する良好な居住環境の向上を図ります。</li> </ul>
	丘陵地	<ul style="list-style-type: none"> <li>・良好な田園景観と集落地周辺の里山は、貴重な緑地空間として積極的に保護・保全しながら、市民のコミュニケーションの場、憩いの場として活用します。</li> <li>・新本生活環境保全林は、保安林としての機能を踏まえつつ、市民の憩いの場として自然環境の保全に配慮し、森林浴等保養の場としての活用を図ります。</li> </ul>

方針・項目		主な取り組み
地域の特性を活かした土地利用	山間地・森林地域	<ul style="list-style-type: none"> <li>森林は、水源かん養や洪水の調節、空気の浄化、動植物の生息環境など都市全体の中で重要な役割を果たしていることから、その維持・保全を図ります。</li> </ul>
	その他土地利用	<ul style="list-style-type: none"> <li>既存の住宅団地については、周辺環境との調和に配慮しつつ住環境の保全を図ります。</li> </ul>
快適で利便性の高い交通環境づくり	道路	<ul style="list-style-type: none"> <li>主要地方道上高末総社線，主要地方道倉敷美袋線，市道清音神在本線を軸とした幹線道路網を形成するとともに，幹線道路と連携する生活道路網の整備を進め，広域との連携強化や地域内交通の円滑化を図ります。</li> <li>関係機関と連携し，（都）総社真備船穂線の整備，主要地方道上高末総社線バイパスの事業促進に取り組みます。</li> <li>生活道路の整備については，安全性，防災性，景観・環境などに配慮し，行政と沿道地域住民との協働により，地域の実情に応じた愛着の持てる道づくりを進めるとともに，地域住民による維持管理活動の充実に努めます。</li> </ul>
	その他交通施設等	<ul style="list-style-type: none"> <li>関係機関への働きかけのもと，バス停における施設の充実やバスの増発，福祉や環境に配慮した車両の導入を目指します。</li> </ul>
安全・安心・快適な生活環境づくり	公園・緑地	<ul style="list-style-type: none"> <li>公園・広場については，健康増進や憩いの場とともに，避難場所としての機能も踏まえ，全市的な配置バランスを考慮して整備を進めるとともに，地元管理を基本に，維持管理の効率化に努めます。</li> </ul>
	下水道・河川	<ul style="list-style-type: none"> <li>下水道については，久代地区，神在地区等において，特定環境保全公共下水道の整備を検討していきます。</li> <li>農業集落排水事業について，新庄（新本地区），山田（山田地区），本庄（新本地区），秦（秦地区），下原（神在地区）の浄化センターについては適切な維持管理に努めます。</li> <li>公共下水道事業，農業集落排水事業の対象外の地域については，合併処理浄化槽の設置を推奨します。</li> </ul>
	その他都市施設等	<ul style="list-style-type: none"> <li>既存の集落地については，必要に応じて生活基盤や情報基盤の整備等を進め，生活環境の改善・向上を図っていきます。</li> <li>土砂災害警戒区域等において，関係機関と連携して，必要に応じて治山，治水，砂防事業を行い住民の安全確保に努めます。</li> </ul>
水と緑にあふれた環境づくり		<ul style="list-style-type: none"> <li>里山活動や川づくり活動などを活かし，地域住民と行政，都市居住者等との協働により森林資源，水辺環境の維持・保全を図っていきます。</li> <li>新本生活環境保全林については，導入道路である一般県道市場青木線の整備等により森林浴の場等としての活用を促進します。</li> <li>水と緑のアメニティ軸を形成する高梁川や地域を横断して流れる新本川等の河川については，快適で憩いの場となる水辺空間の創出と河川緑化に努め，水と緑のネットワーク化を図ります。</li> <li>自然観察・レクリエーションの場として，そうじゃ水辺の楽校や正木山をはじめとする里山等の活用を図っていきます。</li> <li>一丁ぐる古墳群周辺の歴史的景観の保全とともに，歴史的文化的遺産を活用した観光振興，地域振興を図ります。</li> </ul>

【西部地域まちづくり方針】



区分	凡	項	目
	—	界	総社市行政界
	—	界	地域区分界
土地	■	地	工業・流通地
	■	地	工業・流通ゾーン
利用	■	地	農地・農用地
	■	地	丘陵地
拠点	○	地	山間地・森林地域
	○	地	集落地生活拠点
軸	●	地	地域開発軸
	●	地	水と緑のアメニティ軸
	○	景	歴史的景観
	○	景	自然観察・レクリエーションの場
	■	景	生活環境保全林
	■	地	住宅団地
河川	—	川	河川
	—	川	特定河川保全公共下水道事業(未整備)
交通	—	道	広域幹線道路
	—	道	幹線道路(未整備)
	—	道	都市計画道路
	—	道	都市計画道路(未整備)
	—	道	幹線